園山 俊二（そのやま しゅんじ）1935年4月23日、島根県松江市に生まれる。1954年4月に早稲田大学に入学。早大の漫画研究会創立に参加する。在学中から『毎日小学生新聞』に「がんばれゴンベ」の連載を開始し、子供マンガを多数描く。1962年、『国境の二人』の自費出版を境に大人マンガに進出し、1965年、『週刊漫画サンデー』に「ギャートルズ」を発表。原始時代マンガの代表作として、今でも大人気を博す。1970年前後から「気にかかるあの人」「花の係長」「さすらいのギャンブラー」といったヒットシリーズを多数連載するようになり、1979年に『朝日新聞』夕刊に「ペエスケ」の連載をはじめ、ペエスケ一家の飼い犬のガタピシが人気を呼ぶ。1993年1月20日永眠。1976年、「ギャートルズ」ほかで第22回文藝春秋漫画賞受賞。1977年、「がんばれゴンベ」で第6回日本漫画家協会賞特別賞受賞。1993年、勲四等瑞宝章受章。

「カレンダー用イラスト」（1993）

インターネットでみる

園山俊二展 ～家族・自然・冒険～

webでわかりやすく！ 当館初の冒険展!!

今年、2020年は、TVアニメ「**はじめ人間ギャートルズ**」で有名な園山俊二の生誕85年、マンガ「**ギャートルズ**」誕生55周年に当たります。園山はマンガ家生活を通して「**がんばれゴンベ**」を描き続け、子供に夢を与えることを大切にした一方で、大人に向けて、原始時代を舞台におおらかで究極の自由を謳歌する「**ギャートルズ**」を描きました。「**ペエスケ**」では、毎日完結の四コママンガでありながら、数回で一つのエピソードを語るような、新聞マンガとしては珍しいほのぼのとしたファミリーマンガを展開。松江に育ち自然に関心をもっていた園山のマンガは、故郷の雰囲気に影響されているのか、**やさしく癒される絵が最大の特徴**です。キャラクターたちの家族のつながりや、さまざまな冒険の数々を**インターネットの展示**でご堪能ください。

【主な展示内容】

原稿100点以上！原画よりスキャン

作品紹介／読めるコーナー

「がんばれゴンベ」「ギャートルズ」「ペエスケ」「さすらいのギャンブラー」「花の係長」

傑作短編など、代表作を1エピソード分

「国境の二人」コーナー

マンガ家人生の転機となった作品「国境の二人」を紹介

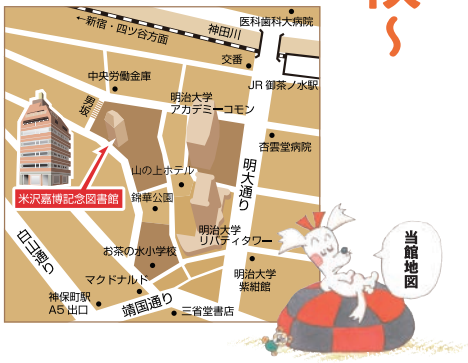
松江と園山俊二コーナー

故郷松江と「園山俊二の顕彰活動」を紹介

代表作・傑作イラストなど

みどころを映像で紹介

「松江の有名人・名物」



「山いも先生」（1961）

「山いも先生」（1962）

「山おやじ」（1986）

明治大学 学生、教職員のみなさまへ

現在、明治大学に所属の学生、教職員のみ事前予約制にて会場で原画をご鑑賞いただけます

会場 **明治大学 米沢嘉博記念図書館**
1階企画展示コーナー

期間 **前期 9/25(金)～10/19(月)**
後期 10/31(土)～11/20(金)

入場無料

要予約
（来館3日前まで受付）

詳しくは当館HPまで